

PDCAチェックシート

実施年度	令和4年度	事務事業名	地域公共交通事業	担当課名	地域創生課		
【Plan】計画		【Do】実施・実行		【Check】点検・評価			
<p>■目的</p> <p>令和3年3月に策定した、本市の地域公共交通の「マスタープラン」となる「東かがわ市地域公共交通計画」に基づき、関係機関と連携しながら地域公共交通の進展に努める。</p> <p>■成果指標(アウトカム・KPI) ※</p> <p>【目標値】</p> <p>○東かがわ市地域公共交通計画に基づき、各種施策の実施に努める。 市内1箇所での実証実験及びその評価を行う。</p> <p>【達成値(R4実績値)】</p> <p>○東かがわ市地域公共交通計画に基づき、関係機関と連携のうえ、各種事業の実施及びその支援、調整を行った。また、市内3か所での実証実験を実施し、その評価を行った。</p>		<p>■具体的取組</p> <p>東かがわ市地域公共交通計画に基づき次のとおり実施した。</p> <p>①「地域コミュニティ協議会等との協働による不便地域での移動手段確保」として、相生地区と水主地区にて75歳以上の方を対象にタクシーの空き時間を活用した、タクシーチケット型の実証実験を、小海地区にて小海活性化協議会と協働でタクシーを活用した相乗り型の実証実験をそれぞれ実施した。</p> <p>②「移動ニーズやまちづくりを踏まえた路線バス網の再編」として、白鳥温泉の閉館による利用者数の変化等を調査するため、大川バスが運行する五名福栄線の利用調査を実施した。</p> <p>③「ターゲットを絞ったモビリティ・マネジメントの実施」として、市内のこども園や小学校にてバスの乗り方教室を開催した。</p> <p>④地域公共交通活性化協議会を3回開催した。</p> <p>■インプット(投入金額等)</p> <p>事業費等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域公共交通活性化協議会報酬(3回) 56千円 ○地域公共交通活性化協議会需用費(食糧費) 5千円 ○地域公共交通計画推進支援委託料委託料 2,222千円 ○実証実験事業等委託料 669千円 ○実証実験事業等需用費(印刷製本費) 256千円 ○実証実験事業等役務費(通信運搬費) 493千円 <p>■アウトプット(数量等)</p> <p>実施回数等</p> <ul style="list-style-type: none"> ①実証実験の実施 2回 ※2か所で1回、1か所で1回の実証実験を実施 ②路線バス利用調査の実施 1回 ③モビリティ・マネジメントの実施 2回 ④地域公共交通活性化協議会の開催 3回 		<p>■成果指標の具体的検証結果</p> <p>(インプット・アウトプットに対するアウトカムの達成状況はどうか、また、達成できていない場合の原因は何なのか等の検証結果を具体的に記載)</p> <p>実証実験については、タクシーを活用したドアツードア型の支援策を、市内の3地区にて、2種類(タクシーチケット型、相乗り型)の方法で実施し、それぞれ利用実績や利用者アンケート、協力団体等へのヒアリングにて効果検証を行った。検証結果については、地域公共交通活性化協議会に諮り、意見を求めた。</p> <p>アンケート調査等によりその結果を検証したところ、タクシーチケット型の実証実験については、一定の需要はあるものの、年齢による制限だけでは十分な利用につながりにくいこと、また、時間を制限した利用については、制限解除を求める声が多いことが確認できた。</p> <p>地域との協働による相乗り型のタクシー利用については、一定のニーズはあるものの、多数の相乗りが成立するほどのニーズはないこと、コミュニティ協議会等の現在の体制では予約対応等の事務負担に限界があることが確認できた。</p>		<p>■検証結果を受けての具体的対応</p> <p>実証実験での検証結果において、タクシーを活用したドアツードア型の支援策については、一定のニーズがあるものの、年齢による制限だけでは効率的な事業実施につながりにくいこと、コミュニティ協議会等が予約調整等の事務を行うのは体制的に難しいこと、一部の地域だけを対象とした実施では対象外の地域からの反発が強いこと等の課題があることが確認できた。</p> <p>こうした検証結果を受けて、次年度以降は、対象者の選定方法を見直したうえで、市内全域で実施できる支援策を検証することで、より効果的な移動支援策の実装に努める。</p>	

※KPI…重要業績評価指標。Key Performance Indicatorの略。アウトカムの達成度を具体的に示す指標(数値)をいう。